

小学校

大きな声で はきはきと

二年A組 山田てんむ

二年生は谷川しゅんたろうさんのしのぐんどくと、「スイミー」の音楽げきをしました。大きな声ではきはきと言えたのでよかったです。れんしゅうのときははやすぎるといわれたけど、本ほんのときは、「うんとこしょ」や「かえるのぴょん」、「ことばあそび」もゆつくりと、はきはきと、大きな声で言えました。みんなで言うところもよくできたのでよかったと思います。クラゲも、とうまくとタイミングをあわせてゆつくりまん中にいたのでよかったです。家でお母さんに「じょうずだったよ。」とほめてもらってうれしかったです。



しよ等部文化さいで がんばったこと

三年B組 ふく谷 るの

わたしが、しよ等部文化さいでがんばったことは、三つあります。一つ目は、出番がまだの時からしぜいを正してまったことです。練習の時よりピシッと出来てよかったです。二つ目は、出番が来た時に大きな声を出したことです。母の前でやったからすぐきんちょうしました。その後、もどる時にいつも走っていつてしまっていたので本番だから歩いてもどりました。三つ目は、さいごにすばやく立てたことです。とらのすけくんがバイバイした後、みんなもバイバイする時に、練習では、立つのがおそかったので、本番では、みんなより早く立つじゅんぴをして、さいごみんな元気よくてをふってかわったので、ほっとしました。本番の前はしっぱいしたらどうしようと思っていました。四年生になったらしよ等部文化さいは、さいごになるので、三年生の時よりもカッコよくしたいです。



最後の初等部文化祭

四年A組 立松 佳

ぼくの最後の初等部文化祭は、ごんぎつねのげきをやり、加助という役をやりました。

練習は、とても大変でした。最初はまちがえたり、声が小さかったりと練習はいやでした。練習がある度、「また練習か」と思っていました。と中から、歌で動きが出てきたり、色のカードで風景を作ったりするというのが出てきて、セリフだけではなく、動き等も覚えなければなりませんでした。しかし、やっていく内に、成功させたいという気持ちも出てきて、声も大きくなりました。

本番当日、みんなはきんちょうしていました。所々まちがえたり、合わなかったり、早くなったりするとところもありました。

文化祭が終わると、みんなが拍手をしてくれて、とてもスッキリしました。最後の文化祭は、いい思い出になりました。



中学校

駅伝大会を通して 努力できたこと

九年A組 小林 大晟

僕は駅伝大会に参加しました。結果は、チームで11位、個人では15位です。僕は、この結果に納得していません。僕は、このような結果になったのは、全て自分の努力の結果と捉えることにしました。実際の自分の目標は、5位以内。「今回5位になった人たちはどんな努力をしたのだろうか、僕自身は、精一杯やってこの結果なのか」自分に問いかけました。よくよく考えてみれば、自分は何も努力していませんでした。自分のチームにも努力している人はいました。3年間駅伝の練習を続けてきた人、僕の目から見たその人は、声を出すことにも走りにも決して手を抜かない完璧な人です。今自分を振り返ると、僕は、仲間にも「手を抜いているように見える」と言われていた覚えがあります。それが、大会の結果にそのまま出たと思っています。周りの先生からは、「走る練習が嫌いだった大晟が、一生懸命がんばるように変わった」と言われたけれ



駅伝を通して

九年A組 立松 昂大

僕は、今年の駅伝練習を通して、「結果が全て」ということを学びました。

僕は、今までの駅伝部より良い

ど、自分よりも努力している人はたくさんいて、その人たちと比べれば自分の努力は「手抜き」なのだと痛感しました。

大会までの日々を思い出すと、もともとこうしておけば…あの場面でもっとがんばっておけば…とたくさん後悔が出てきます。だから僕は、これから先に、結果を見て後悔することのないように、自分のやると決めたことに一生懸命になろうと思います。そして次は結果を見て後悔するのではなく、喜ぶことができるようになります。

僕にこのことを気づかせてくれたのは、ともに駅伝を頑張ってきたメンバーです。そして、先生方にも感謝しています。最高の思い出をありがとうございました。



成績を残そうと心に誓い、駅伝部で練習をしました。なので、練習では一切手を抜かず、タイム計測のときもベストの状態で走れるように準備をして臨んできました。

鬼頭先生に、「今年は上位に入る」と言われたときは、とても嬉しかったです。それを励みに、その後の練習にもしっかりと取り組み大会を迎えました。

大会当日、僕は、「今までしっかりやってきたから大丈夫」と自分に言い聞かせて走りました。が、思うように結果は伸びず、ベストタイムより15秒も遅い9分45秒で走りきりました。チームでも、誰も自己ベストを出せず、11位という残念な結果に終わりました。僕は、大会前にやれることは全てやり切ったので悔しい気持ちにはならないと思っていましたが、思ったような結果でなかったことでも悔しい気持ちになりました。

僕は今まで、結果がどうであれ、自分もてる力を出し尽くせばそれでいいと思っていましたが、これからは、自分の中で最大の努力をすること

はもちろん、周りの人たちから認めてもらい、なおかつ結果を



残せる、そんな強い人間になりたいと思いました。

三年間の駅伝を終えて

九年A組 伊藤 雅

「楽しみながら自己ベスト」という目標を決め、最後の駅伝大会がスタートしました。1区の前田彩花さんが1位で帰ってきたとき、私も1位で襷をつながなきやと思い一生懸命走り、なんとか1位でつなぐことができ、総合で4位という結果でした。最後の大会で、一番良い順位をとることができたので嬉しかったです。けれど、個人のタイムは思うようなタイムが出ませんでした。でも後悔はあまりしていません。

今年は、駅伝部の9年生の女子が私一人で、何度なくじけそうになったり嫌になったりすることがありました。でも、9年生の男子や、後輩たちが私の背中を押してくれたから、今があります。本当に感謝しています。私は、駅伝部の活動を通して、後輩に伝えたいことがあります。来年は、今年よりも上位を目指すために、たくさん走り込んでほしいということです。夏休みからの練習に、嫌々取り組むのではなく、自分から一生懸命取り組んで、優勝目指して頑

張ってほしいです。私が、自己ベストでなくても後悔しなかったのは、練習で毎回自分を追い込んで、後悔しないように取り組んできたからです。後輩にもそんな風に頑張れば、感動が得られるということを実感してほしいです。

最後の駅伝大会は、とても良い大会になりました。最後の最後まで、私を支えてくれたメンバーに感謝の心を伝えたいと思います。本当にありがとうございました。私たち9年生についてきてくれた嬉しかったです。この駅伝大会のことは絶対に忘れません。このメンバーで良かったです。最高のチームです。ありがとうございます。



飛島学園 1月の行事予定

9日(火) 始業式①④

10日(水) 給食開始①④

18日(木)~19日(金)

学年末テスト(9年)④

24日(水) 2分の1成人式(4年)①④

29日(月)~31日(水)

三者懇談(9年)④